

第5期中部WIN 第1回開催レポート

開催日時：令和4年6月27日（月）13:30～17:30

●主催者挨拶 田中 耕太郎／中部経済産業局長

日本は欧米諸国等と比べて役員や管理職に占める女性の割合が低い状況で、中部地域も役員や管理職への登用は全国と比べて遅れている。日本が今後成長を続けていくには最大の潜在力である女性の活躍が不可欠である。参加される皆様は、中部WINを通じてリーダーに必要な幅広い視点と洞察力を養い、人的ネットワークを構築し、中部地域の未来のリーダーとして活躍されることを期待する。



●受講ガイダンス 品田 由美／中部経済産業局 地域人材政策室長



女性活躍を通じて企業等の競争力強化を図ることは、経営的な観点からも重要。これから半年間、参加される皆様には共通の目的を持った仲間として過ごし、研修終了後も社外の同志となる関係を作ってほしい。また、グループワークでは、社会課題をテーマとしたビジネスプランを策定し、最終回には成果発表会を行う。物事を俯瞰的に捉える能力を養うとともに、課題解決力の習得をめざす。

●グループワーク導入講演「グループワークにおけるビジネスプランの策定について」 伊藤慎悟 氏／コンサルティング・シスト代表（中小企業診断士）

前提条件を収集・分析（現状分析）→方向性の決定→具体施策の決定というビジネスプランの策定手順の中で、現状分析が特に大切。マーケティングに使われる3C分析という手法も、顧客・競合・自社の現状分析をするもの。注意点は、現状分析は闇雲に現状を知るためのものではなく、方向性を導き出すための分析である点。バックボーンも経験も異なるメンバーでグループワークを進めることになるため、よく話し合い、合意を取りながら進めてほしい。



●卒業生による講話

上田 那奈 氏（第4期生）／株式会社東海理化

松葉 由紀子 氏（第3期生）／EY新日本有限責任監査法人



次世代を担う女性リーダーとして参加していることを忘れず、自分が主体となって動いてほしい。失敗することは当たり前なので、たくさんチャレンジすること。ただし、プライベートの時間も大切に効率よく進めること。そのために、グループワークの進捗管理は綿密に。困ったときには仲間やサポーター、アドバイザーに頼ること。メンバー同士、積極的に話をして、社外の仲間を作ってほしい。自分も、グループワークを通してつながったメンバーとは、中部WIN以外でも色々な話をする仲となり、自分のライフスタイルやキャリアにも大きな影響があった。思ったことを口に出し合うことで、お互いに「共感」や「違和感」のどちらもわかるようになる。違和感を否定するのではなく、違いとして捉え、違いがあるからこそ面白いと考えること。それにより他人を知り、自分を知ることにつながる。

●ネットワークイベントのご案内

松葉 由紀子 氏（第3期生）／EY新日本有限責任監査法人

吉留 亜弥 氏（第4期生）／ひまわりネットワーク株式会社

受講生の交流を深めるためのネットワークイベントを卒業生有志が自主企画した。グループ以外の人と交流が持たないという課題を解決するため、中部WIN開催日の午前中に開催し、他者からのフィードバックをもらう「グループリフレクション」を行う。過去の受講生の参加も可能で、横・縦のつながりを強化することを目的とする。



●アドバイザー・サポーター・オブザーバーの紹介



- ・アドバイザー（中部経済産業局幹部）5名
- ・サポーター（中部WIN卒業生）5名
- ・オブザーバー（自治体関係者）5名の紹介が行われた。

●自己紹介・写真撮影

受講者各自が自己紹介を実施。仕事の悩みや課題、中部WINに参加することへの意気込みなどを発表した。また5つのグループに分かれ、グループごとに写真撮影を行った。

